

# 山科と大津京に天智天皇と藤原鎌足等を訪ねる

梅花女子大 市瀬雅之先生

東西線(柳辻なぎのつじ駅)—坂上田村麻呂の墓—中臣遺跡公園—柳辻駅—御陵駅—天智天皇陵—御陵駅—大津市役所駅—皇子山運動公園(昼食、自由散策)—市役所前歌碑—弘文天皇陵—大津市役所駅—近江神宮前駅—錦織遺跡—近江神宮



坂ノ上田村麻呂公園  
勸修寺 栗栖野付近



## 征夷大將軍 坂上田村麿公の墓

坂上田村麿は797年に桓武天皇に征夷大將軍に任じられた



中臣遺跡



勸修小学校



## 天智天皇陵



## 大津市役所前歌碑 時計塔基部



弥生時代から古墳時代を中心にした洛東最大の集落史跡。山科盆地は、藤原鎌足の中臣氏(藤原氏)の本拠地として古くから開発 7~8世紀の柱穴跡の列も出土。

楽浪の志賀の大わだよとむとも  
昔の人に またも逢わめやも  
人麻呂  
巻1-31



## 弘文天皇陵







灰塵に帰した  
近江大津宮の  
荒れ果てた様を見て  
詠んだ歌

大津京(宮)は、667年、天智天皇が明日香から遷都。  
672年の壬申の乱で廢都と化する。  
昭和40年代に宮跡らしき遺構が発見され、国の史跡に指定された

志賀宮址碑  
高さ2.57m  
1895明治28



天智天皇が政務を執った内裏正殿跡(錦織遺跡第2地点)



玉櫛 畝火の山の  
樞原の 日知の御代の  
生(あ)れまし  
—————  
霞立つ 春日の  
霧(き)れるももしきの  
大宮処見れば悲しも  
柿本人麻呂  
万葉集 卷1-29

平忠度  
ささ(波)や(千載集)  
天智天皇  
秋の田の(百人一首)  
柿本人麻呂  
藤原鎌足  
淡海(海)  
我(れ)は(も)や  
額田王  
君(待)つ(と)

第9地点



第3地点



近江神宮のそばの大津京シンボル緑地 歌碑



内拝殿と本殿(奥)

外拝殿と内拝殿(奥)



近江神宮



さざなみの  
しがの山路の  
春にまよひ  
ひとり眺めし  
花盛りかな  
保田與重郎